

東京医学会

東京医学会 第 2637 回集会

日時：平成 26 年 4 月 21 日（月） 17:00~18:00

場所：医学部 2 号館（本館） 1 階 小講堂

演者： **Daniel B. Rifkin** 博士

（所属） **Department of Cell Biology, New York University
School of Medicine, USA**

演題： **Control of TGF β in the extracellular Environment;
Physiological and Pathological Implications**

紹介： TGF- β (transforming growth factor- β)は様々な種類の細胞の増殖・分化など種々の細胞機能の促進または阻害作用を有するサイトカインです。TGF- β は発生ならびに成体の恒常性維持に重要な役割を果たすことから、そのシグナルの異常はがんや臓器の線維化など様々な疾患の要因となります。TGF- β は様々な組織や細胞で普遍的に産生されますが、TGF- β が働くためには、潜在型(latent)複合体から活性型 TGF- β が解き放たれる反応（TGF- β 活性化反応）が必要であり、この活性化を制御することは、TGF- β 関連の疾病の治療につながるものと考えられます。Rifkin 博士は TGF- β 活性化反応において重要な役割を果たす latent TGF- β binding protein (LTBP)の研究において国際的なリーダーの一人です。近年では、様々な遺伝子改変マウスを用いて、LTBP ファミリーメンバーが初期発生さらには血管・骨・肺などの形成・維持にどのような役割を果たしているかについて先駆的な研究をすすめています。今回は博士の講演を拝聴できる貴重な機会ですので、どうか奮ってご参加ください。

主催：東京医学会

共催：分子病理学 教室